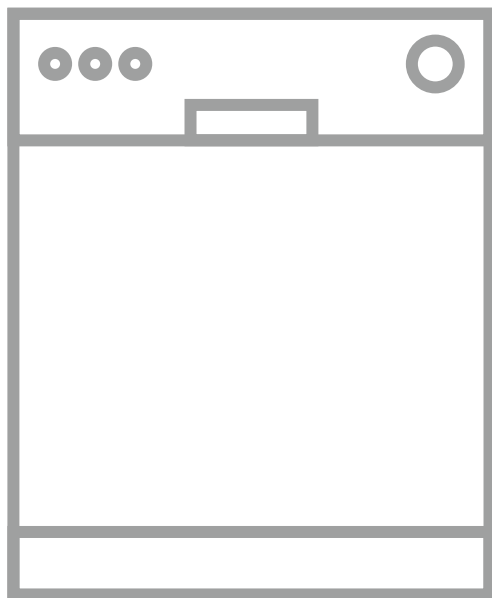


USER MANUAL



もくじ

はじめに	3	洗浄効果を上げるための ワンポイント・アドバイス	20
安全上のご注意	4	全般	20
安全にお使いいただくために	4	洗剤、リンス剤の使用にあたって	20
食器類についての注意	8	バスケットに食器を入れるとき	20
洗剤とリンス剤について	9	洗浄を始める前に	21
[重要] 初めてお使いになる前に	9	バスケットから食器を取り出すとき	21
経済的に環境に配慮してお使いいただくために	9		
各部の名称	10	食器の入れ方	21
操作パネル	11	下段バスケット	21
表示ランプ	11	ナイフ・フォーク類用バスケット	23
洗浄コースリスト	12	上段バスケット	24
水使用量と電力消費量	13	上段バスケットの高さ調節	26
Option(オプション)機能	14	お手入れとクリーニング	27
GlassCare(グラスケア)について	14	フィルターの取り外しおよび掃除方法	27
GlassCare(グラスケア)の設定方法	14	庫内と表面の掃除	28
ExtraPower(エクストラパワー)について	14	スプレーアーム(下部/上部)の掃除	29
ExtraPower(エクストラパワー)の設定方法	14		
Extra Hygiene(エクストラハイジーン)について	14	故障かな?と思ったら	31
Extra Hygiene(エクストラハイジーン)の設定方法	14	洗浄結果に満足できないとき	34
		乾燥システムについて	36
各種設定	15	使用を終了した家電製品は正しくリサイクル	37
洗浄コース選択モードとユーザー設定モード	15	梱包材について	37
洗浄コース選択モードの設定方法	15		
ユーザー設定モードの設定方法	15	アフターサービスおよび修理規定	38
リンス剤注入レベル(Rinse aid level)	15		
リンス剤注入レベルの設定方法	15	修理のご依頼について	39
Air Dry(エアドライ)について	16	補修用性能部品について	39
エアドライの有効/無効化の設定方法	16	修理料金の仕組みについて	39
洗剤とリンス剤について	17	仕様	40
洗剤を入れる	17	製品情報や点検期間の表示場所	40
リンス剤を入れる	17		
		愛情点検	40
使い方の手順	18		
		製品保証書	41
洗浄コースの設定と開始	18		
Auto Off(オートオフ)機能	18		
洗浄コースの設定	18		
Delay(スタート予約)を使って洗浄するには	19		
運転中にドアを開けると	19		
カウントダウン中に Delay(スタート予約)を 取り消すには	19		
運転中の洗浄コースを取り消すには	19		
洗浄コースの終了時には	19		

はじめに

このたびは、AEG全自動食器洗い機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 取扱説明書の最後に製品保証書がついています。製品保証書の内容および「お買い上げ日/販売店名」の記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管してください。
- 本機を他の人に譲渡されるときは、必ずこの取扱説明書を添付してください。
- 設置および使用が正しく行われなかった場合の故障や事故については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書には、製品が故障と思われるときに、お客様がご自分でトラブルを解決するための点検方法が書かれています。「故障かな？」と思われるときには、まずこの取扱説明書「故障かな？と思ったら」をご覧ください。点検後も正常に作動しない場合には、本機の電源を切り、お買い求めの販売店、またはエレクトロラックスお客様サポートご連絡ください。

◆ 製品登録をお願いします

長くご愛用いただくため、またエレクトロラックス お客様サポートのよりよいサービスをお受けいただくため、ご購入後はお早めに登録をお願いいたします。

ご登録をされると

- スムーズなお問い合わせ対応
 - エレクトロラックス最新情報を配信*
 - キャンペーンなどのお得なお知らせ*
- * 製品やキャンペーン情報等のご提供をご希望されたお客様が対象となります。

登録はこちらから



インターネット(PC・携帯電話)にてご登録ください。

https://member.electroluxjapan.com/webapp/form/14975_zdw_120/index.do

⚠ 警告



点検後も正常に動かなかったり、明らかに異常がある場合は給水栓を閉めて電源プラグを抜くか専用ブレーカーを落とし安全を確保する
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告



修理技術者以外は分解や改造および修理をしない
技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

■ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合。

(絵表示の例)



△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容を表しています。
図の中に具体的な注意内容が示されています。



⊘ 記号は、禁止の行為を表しています。
図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は分解禁止) が示されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を表しています。
図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が示されています。

警告



この機器は一般家庭で使用することを想定して設計されています
業務用途、医療施設、介護施設などでは使用できません。一般家庭以外での使用
における故障は、アフターサービスなどの対象外となります。

200Vコンセントは単独で使う



200Vコンセントは、一つのプレーカーに1つしか取り付けられません。分岐して複数個の製品を使用すると、分岐部から発火して火災になる恐れがあります。



壁コンセントにはアース工事が必要
200Vコンセントの設置には、専用プレーカーから電源とアースを200V20Aコンセントまで配線する必要があります。この作業は有資格者のみ行うことができる工事です。

電源コードの取扱いに注意する



改造しない、交換しない、傷つけない、固定しない、束ねない、破損させない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、重い物を乗せたり挟み込んだりしない、製品で押しつけない、製品の上や下や側面に押し込まないでください。火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、電源プラグを抜くか専用プレーカーを切り安全を確保する
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険ですのでお買い上げの販売店にご連絡ください。

警告



設置前に運搬による破損がないか、製品を確認する

破損した電気製品は決してコンセントに繋がらないでください。破損がある場合にはお買い上げの販売店にご連絡してください。



単相100Vで使用しない・海外で使用しない
動作しません。そのままにしておくと火災・故障の恐れがあります。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いて埃を取る
火災・故障の恐れがあります。



浴室や屋外や湿気の多い場所には据え付けない
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



電源プラグをコンセントから抜く時は、必ずプラグを持つ
電源コードは引っ張らないでください。火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



本体各部に直接水をかけない
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない
事故・ケガ・感電・ショート of の恐れがあります。



長期間使用しない時は、必ず給水栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす
事故・ケガ・感電・ショート of の恐れがあります。



運転中は扉を開けない
高温の湯気が出てやけどをすることがあります。また、食器に手を触れるとやけどをすることがあります。



運転前に庫内に食器類以外の物が入っていないことを必ず確認する
スプレー缶、ライター、引火性溶剤・ペット等が入っている状態で運転をすると、火災・事故・ケガ・感電・故障などの恐れがあります。



火のついたローソク・蚊取り線香・たばこなどの火気を近づけない
火災・故障・変形の恐れがあります。



運転中に衝撃を与えない
火災・水漏れ・感電・故障の恐れがあります。



作動水圧は 0.5(0.05)/8(0.8)bar (Mpa) の間である必要があります。



日本語が読めない方や取扱説明書の理解が出来ない方は本機の使用を行わないように注意する
火災・事故・水漏れ・故障の恐れがあります。また、コンフォートリフトをお子様一人で持ち上げると、食器の落下などが考えられるため、非常に危険です。

警告



電源プラグやコードが破損している時は使用せず、エレクトロラックスお客様サポートへご連絡ください。



高圧力なウォータースプレーやスチームで本機を洗浄しないでください。



お子様に庫内をのぞかせたり製品で遊ばせたりしない

庫内に残った水は洗剤等が残留している可能性があります。死亡・事故・ケガ・やけど・故障の恐れがあります。



ドアの開閉やコンフォートリフトなどによる、はさみ込みに注意
指や手足などをドア、ヒンジ、コンフォートリフトなどにはさまれると、ケガをする恐れがあります。小さなお子様やペットには十分注意してください。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

事故・ケガ・やけど・故障の恐れがあります。



ドアにぶら下がらない、開いたドアに触らない

ケガ・やけど・故障の恐れがあります。



製品の梱包材はお子様の近くに置かない

ビニール・発泡スチロール・段ボールなどの梱包材は、お子様にとって窒息事故・ケガの恐れがあります。



ドアに負荷をかけない

ドアに寄りかかったり、開いているドアの上に重量を加えたり、腰かけることはしないでください。ケガ・やけど・漏水・ヒンジの破損・故障の恐れがあります。



洗剤やリンス剤はお子様の手が届かない場所に置く



本機と周囲の隙間に小動物が入らないようにする

小動物が電気配線やホースをかじることで、感電・水漏れ・故障の恐れがあります。



庫内には触れない

運転中または、運転終了後約60分間は絶対に槽に触れないでください。やけどの恐れがあります。



使わない時は扉を閉める

食器洗い機の扉は、開いた扉につまずいたり、ケガを防ぐために食器を出し入れするとき以外は常に閉めておくようご注意ください。



庫内の食器の温度に気をつける
食器の取り出し、フィルターの掃除、お手入れは運転終了後約30分以上経過してから行ってください。食器破損、やけどの恐れがあります。



リサイクルに出すときにはドアパッキンはずす

お子様が閉じ込められると、死亡・事故・ケガの恐れがあります。



洗浄プログラムが終了していないときは庫内から食器を出さない

洗剤が食器に付着している場合があります。

⚠ 注意

設置者は設置マニュアルに従って取り付ける



設置の条件や配置のしかた、また電源や給水接続などは、設置マニュアルに記載された指示を守って行ってください。

設置者は設置完了後に設置マニュアルのチェックリストに従い確認する



設置不良で発生した火災・水漏れ・故障は弊社では保証いたしません。

カーペット床への設置はしない



確実な固定が出来ない事から火災・水漏れ・故障の恐れがあります。故障時のサービスメンテナンスもできません。

使用場所が0℃以下になる場所では使用しない



凍結により、故障や水漏れの恐れがあります。

本体前面には十分なスペースを確保する



ドアの開閉がスムーズに出来なかったり、緊急排水が出来なくなったり、故障時のサービスメンテナンスができなくなります。

設置場所に注意



ガスレンジや電気コンロなど熱を発生する機器のそばに設置する場合、耐熱板で食器洗い機との間を仕切り、保護してください。火災や故障の恐れがあります。

取付前に、全ての梱包材とホース類のホルダーを外して設置する



そのままご使用にはなれません。設置時に必ず設置マニュアルを確認して取り外してください。

動作前に必ず給水栓を開いて給水ホースの接続を確認する



設置時にネジが緩んでいると、水漏れの恐れがあります。

取付後、全てのホース・ケーブルがはさまれていたり押されていない事を確認する



そのまま使用すると本機が破損し故障します。設置時には必ずマニュアルを確認してください。

使っていないときも電源コードは抜かない



水漏れ防止システムを搭載していますので、電源コードを抜いたり専用ブレーカーを落としてしまうと水漏れを防ぐ機能が動きません。

家庭用食器類/鍋類以外は洗わない
食器類/鍋類の劣化/破損・本体の故障の恐れがあります。



食器洗い機専用の洗剤/リンス剤を使用する



一般の台所洗剤では泡が異常発生し、水漏れ・故障の恐れがあります。

食器類についての注意



ナイフ・フォークなどのカトラリーは必ず鋭利な面を下に向け、上段バスケットに寝かせて入れるか、またはナイフ・フォーク類用バスケットに先端を下に向けて入れ、洗浄してください。

以下の食器は食器洗い機では洗わないでください。



- 漆器類
- アルミニウム食器
- 高級クリスタルグラス／着彩されたクリスタルグラス
- 木製、角製、磁器製または貝製のグリップの付いたナイフ・フォーク類
- 耐熱性のないプラスチック製品
- 耐熱性のない接着剤で接続された食器またはナイフ・フォーク類
- 錫・銅製品
- 錆びやすいスチール製品
- 木製大皿
- 工芸品
- 合成繊維で作られている製品

条件付きで洗える食器



- ストーンウェア(石器)は、「食器洗い機洗浄可能」と表示されている場合にのみ、食器洗い機で洗ってください。
- うわぐすりによる模様は、食器洗い機で頻繁に洗うと色が褪せてしまう場合があります。
- 銀・アルミニウム部品は、洗浄の際に変色する傾向があります。卵白、卵黄、からし等が銀製品に付着すると変色あるいはしみを生じることがあります。食後すぐに銀製品を洗わない場合は、すみやかに付着汚れを取り除くことをおすすめします。
- グラスの中には、何度も洗うと曇りを生じるものがあります。
- プラスチック製品は乾燥の仕上がりが弱くなります。



食器類を購入する場合は、食器洗い機で洗えるかどうかをご確認ください。

i 洗剤とリンス剤について

⚠ 注意

食器洗い機専用の洗剤/リンス剤を使用する

一般の台所洗剤では泡が異常発生し、水漏れ・故障の恐れがあります。

重要 初めてお使いになる前に

- 運送中の損傷を防ぐため、バスケット類は固定されていますので、固定用のプラスチックをすべて取り外してください。
- 食器洗い機内の梱包品は全て取り出してください。
- 電源コードや給水ホース、排水ホースなどの各接続が正しく行われていることを確認してください。
- 購入後初めてご使用になる場合は、**30min**(30分洗浄)で事前に空洗いをを行い、庫内の汚れを落としてください。

経済的に、環境に配慮してお使いいただくために

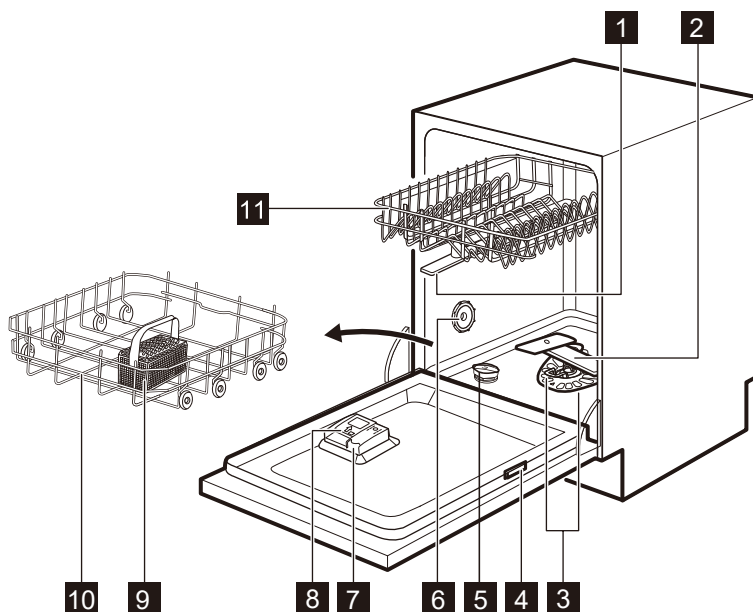
本機は食器量の多い洗浄が可能のため、例えば朝と夜の洗浄を別々にするより、食器類がたまってからまとめて洗浄するのが経済的です。

- 洗浄の際は、食器類を正しくセットし、庫内を満たした状態で洗うのが最も経済的です。
- 洗浄プログラムは、食器類の種類および汚れの度合いに応じて適切に選択してください。
- 洗剤、リンス剤は、使用表示量に従ってください。必要量以上に使用することは避けてください。

⚠ 注意

電源ならびに給排水のための接続は、設置マニュアルに記載された指示を守って行ってください。

各部の名称

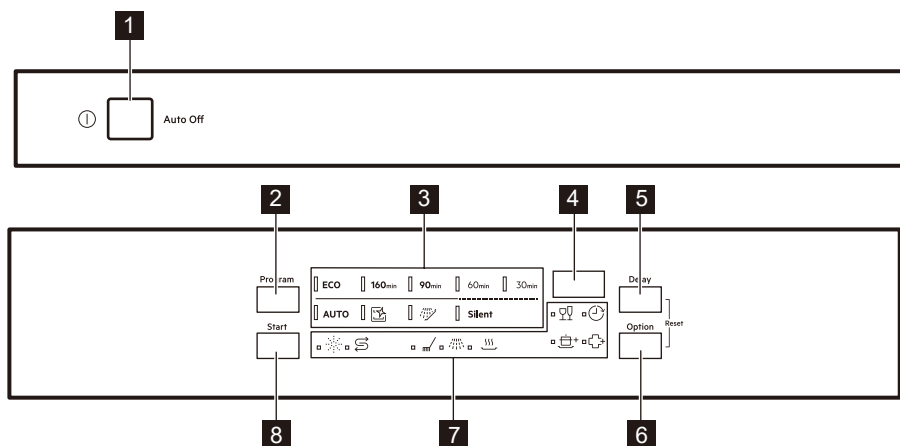


- 1 上段スプレーアーム
- 2 下段スプレーアーム
- 3 ゴミフィルター
- 4 銘板
- 5 塩コンテナ（日本では使用しません）
- 6 換気口
- 7 リンス剤ディスペンサー
- 8 洗剤ディスペンサー
- 9 ナイフ・フォーク類用バスケット
- 10 下段バスケット
- 11 上段バスケット

⚠ 注意

塩コンテナのふたを開けたり、中に物を入れないでください。水漏れの恐れがあります。

■ 操作パネル



- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 電源ボタン | 5 Delay (スタート予約) ボタン |
| 2 Program (洗浄コース) 選択ボタン | 6 Option (オプション) ボタン |
| 3 洗浄コース表示ランプ | 7 表示ランプ |
| 4 液晶ディスプレイ | 8 Start (スタート)ボタン |

■ 表示ランプ

アイコン	内容
	リンス剤ディスペンサーが空になると表示されます。リンス剤の補充はP.17を参照してください。
	塩補充お知らせ (日本では使用しないため点灯しません)
	洗浄工程。洗浄工程になると点灯します。
	すすぎ工程。すすぎ工程になると点灯します。
	乾燥工程が含まれる洗浄コースを選択すると、点灯します。乾燥工程中は点灯から点滅に変わります。P.12-13を参照してください。
	スタート予約を設定すると表示されます。P.19を参照してください。
	GlassCare (グラスケア - ガラス製品に適した洗浄機能)
	ExtraPower (エクストラパワー - 高い洗浄機能)
	ExtraHygiene (エクストラハイジーン - より殺菌作用のある洗浄機能)

■ 洗浄コースリスト

洗浄コース	食器の種類	汚れの程度	工程	追加できるオプション
ECO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物 ・ 鍋類 ・ フライパンなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通の汚れ ・ 軽いこびりつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備洗い ・ 本洗い50℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ55℃ ・ 乾燥 ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraPower ・ GlassCare ・ ExtraHygiene

●最も効率的な水使用量と消費電力量で、普通の汚れの食器類と刃物類を洗浄します。

160min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物 ・ 鍋類 ・ フライパンなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通～ひどい汚れ ・ こびりつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備洗い ・ 本洗い60℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ60℃ ・ 乾燥 ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraPower ・ GlassCare ・ ExtraHygiene
---------------	---	--	---	---

90min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物 ・ 鍋類 ・ フライパンなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通の汚れ ・ 軽いこびりつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本洗い60℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ55℃ ・ 乾燥 ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraPower ・ GlassCare ・ ExtraHygiene
--------------	---	---	---	---


60min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽い汚れ ・ 軽いこびりつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本洗い60℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ50℃ ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraPower ・ GlassCare ・ ExtraHygiene
--------------	--	--	---	---

30min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物など 	新しい汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本洗い50℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ50℃ ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraPower ・ GlassCare ・ ExtraHygiene
--------------	--	-------	---	---


●汚れが付いたばかりの食器類を洗います。短時間でよい仕上がりが期待できます。

AUTO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器 ・ カトラリー・刃物 ・ 鍋類 ・ フライパンなど 	すべての汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備洗い ・ 本洗い50-60℃ ・ すすぎ ・ 仕上げすすぎ60℃ ・ 乾燥 ・ エアドライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ExtraHygiene
-------------	---	--------	--	--

●バスケットの中の食器類の汚れ具合と量を検知します。水の温度と使用量、電力消費量と洗浄時間を自動的に調整します。

洗浄コース	食器の種類	汚れの程度	工程	追加できるオプション
	食器洗い機庫内洗浄用洗剤以外の物を庫内に入れないでください	庫内の洗浄を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・本洗い70℃ ・すすぎ ・仕上げすすぎ ・エアドライ 	このコースはオプションを追加できません

●庫内の洗浄を行います。カルキや溜まった油汚れを取り除きます。2か月に1度、食器洗い機庫内洗浄用洗剤を使って洗浄することをおすすめします。



	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器 ・カトラリー・刃物 ・鍋類 ・フライパンなど 	すべての汚れ	・予備洗い	このコースはオプションを追加できません
---	---	--------	-------	---------------------

●食器に残りかすがごびり付いたり、庫内の臭いを防ぐために軽くすすぎをします。バスケットに食器がたまるまで時間があく場合に使用します。本洗いは行わないので洗剤は使用しないでください。

Silent	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器 ・カトラリー・刃物 	普通の汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ・予備洗い ・本洗い58℃ ・すすぎ ・仕上げすすぎ60℃ ・乾燥 ・エアドライ 	このコースはオプションを追加できません
---------------	--	-------	---	---------------------

●ポンプを低速で運転することで騒音を抑える、音の静かなコースです。運転時間が長くなるため、夜間や電気料金の安い時間帯でのご使用をおすすめします。





■ 水使用量と電力消費量

洗浄コース ^{1) 2)}	水量(リットル)	電力(kWh)	洗浄時間(分)
ECO	9.9	0.628	240
160min	8.8 - 10.8	0.854 - 1.043	160
90min	8.5 - 10.4	0.743 - 0.909	90
60min	8.2 - 10	0.628 - 0.767	60
30min	7.9 - 9.7	0.543 - 0.664	30
AUTO	8.0 - 10.7	0.683 - 1.047	120 - 170
	7.4 - 8.9	0.396 - 0.484	60
	2.8 - 3.4	0.011 - 0.014	15
Silent	8.5 - 10.3	0.679 - 0.839	248

1) 水圧、水温、電源供給の違い、食器の種類や量によって数値は異なります。

2) ECO 以外の数値はあくまでも目安です。

Option(オプション)機能

-  洗浄コース開始前に毎回ご希望のオプションを選択します。運転中は追加機能の選択及び設定機能の解除はできません。
-  オプションの中には、同時に選択できない項目もあります。その場合は、自動的にいずれか一方、または両方の選択が無効となります。有効なオプションの表示ランプのみが点灯します。
-  オプションボタンを押すと、使用可能なオプションとその組み合わせが切り替わります。
-  オプションを追加すると水や電気の使用量が上がり、洗浄時間も長くなります。


※洗浄コースごとに使用できるオプションは、P.12「洗浄コースリスト」をご覧ください。

■ GlassCare(グラスケア)について

割れやすい陶器、ガラス製品などの洗浄に適しています。このオプションは急激な温度変化を防ぎ、水温を45℃*まで下げて洗浄します。特にガラス類をダメージから守ります。

* ExtraPowerと組み合わせる場合は、仕上げすぎの温度が60℃になります。


■ GlassCare(グラスケア)の設定方法

Option(オプション) ボタンを  の表示ランプが点灯するまで押します。本機能を選択できない洗浄コースの場合は、当該表示ランプが点灯しないか、数秒点滅したあとに消えます。液晶ディスプレイには、洗浄コースの運転時間が更新されて表示されます。

■ ExtraPower(エクストラパワー)について

選択した洗浄コースの洗浄パワーを高めます。このオプションが有効になっているときは、運転時間、使用水量が変更されます。また、すすぎの水温が69℃になります。


■ ExtraPower(エクストラパワー)の設定方法

Option(オプション) ボタンを  の表示ランプが点灯するまで押します。本機能を選択できない洗浄コースの場合は、当該表示ランプが点灯しないか、数秒点滅したあとに消えます。液晶ディスプレイには、洗浄コースの運転時間が更新されて表示されます。

■ ExtraHygiene(エクストラハイジーン)について

最終すすぎ工程で、10分間以上65～70℃の水温を保つ事により、より殺菌作用のある洗浄効果が得られます。

■ ExtraHygiene(エクストラハイジーン)の設定方法

Option(オプション) ボタンを  の表示ランプが点灯するまで押します。本機能を選択できない洗浄コースの場合は、当該表示ランプが点灯しないか、数秒点滅したあとに消えます。液晶ディスプレイには、洗浄コースの運転時間が更新されて表示されます。

各種設定

■ 洗浄コース選択モードとユーザー設定モード

洗浄コース選択モードのときは、洗浄コースの設定を切り替えることができます。

ユーザー設定モードでは、次の設定を変更することができます。

- ・リンス剤注入レベルの設定
- ・Air Dryの有効／無効化

※この設定は再度変更するまで、同じ設定のまま残ります。

● 洗浄コース選択モードの設定方法

ECOコースの表示ランプが点灯し、ディスプレイに所要時間が表示されたとき、本機は洗浄コース選択モードになります。(通常は、電源を入れると洗浄コース選択モードになります) Program(洗浄コース)選択ボタンを押すと、洗浄コースを変えることができます。

洗浄コース選択モードにならない場合は、次の手順で洗浄コース選択モードを設定します。

- ・洗浄コース選択モードになるまで Delay(スタート予約)とOption (オプション) ボタンを同時に長押しします。



● ユーザー設定モードの設定方法

Delay (スタート予約) キーとOption (オプション) キーを同時に長押しします。

ECO、**160min**、**90min** が点滅を始め、ディスプレイには何も表示されなくなります。

■ リンス剤注入レベル(Rinse aid level)

リンス剤は仕上げすすぎの工程で、リンス剤用ディスペンサーから自動的に注入されます。リンス剤の量はレベル1 (最小値)～8(最大値)まで設定できます。リンス剤に関してはP.17「洗剤とリンス剤について」を参照してください。

- ・レベル0の場合リンス剤は注入されません。工場出荷時の初期値はレベル5です。
- ・リンス剤用ディスペンサー内のリンス剤が空になると、ディスプレイに  が点灯します。
- ・マルチタブレットだけを使用し、乾燥の仕上がりに満足な場合は、リンス剤注入レベルを0に設定してください。
- ・余熱乾燥の効果を高め、食器を美しく保つためにも、リンス剤の使用をおすすめします。
- ・リンス剤を使用しない時はリンス剤注入レベルを0に設定してください。 が表示されなくなります。

● リンス剤注入レベル(Rinse aid level)の設定方法

1. ユーザー設定モードにします。(上記「ユーザー設定モードの設定方法」を参照してください)
2. Program (プログラム) ボタンを押します。
 - ・ECOの表示ランプが点滅しています。
 - ・その他の表示ランプが消灯します。
 - ・ディスプレイには現在の設定値が表示されます。例) **4R** = レベル4
3. Program (プログラム) ボタンを押して、お好みのレベルに設定します。
4. 電源ボタンを押して、設定を完了させます。

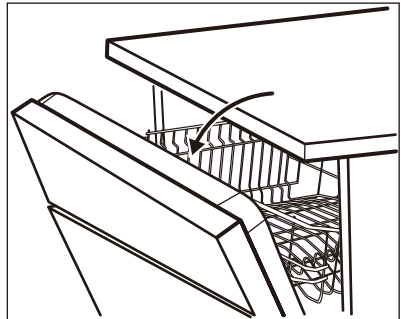
■ Air Dry(エアドライ)について

本機は消費電力を抑える「余熱乾燥方式」を採用しています。

乾燥工程になるとドアが自動的に少し手前に開き、最後のすすぎ工程で発生した熱い蒸気を逃がします。ドアが開くことで冷やされた庫内と温かい食器の温度差が乾燥効果を高めます。この機能は予備洗浄以外のすべてのコースで設定できます。

※P.36「乾燥システムについて」も合わせてお読みください。

※エアドライが作動して余熱乾燥が終了したら、必ず食器が冷めてから取り出してください。P.21「バスケットから食器を取り出すとき」をご参照ください。



⚠ 注意

- ・エアドライを使用すると、ドアが開いたまま終了します。小さなお子様がいる場合や、運転終了後もドアを閉めた状態を保ちたいとき（開いたままの状態になるため）は、本機能の設定を **00**（作動しない）にしてください。
- ・エアドライ機能が作動し、ドアが開いたあと2分間はドアを閉めないでください。故障の原因となります。また、ドアは自動的に閉まりません。

● エアドライの有効/無効化の設定方法

1. ユーザー設定モードにします。(P.15「各種設定」をご参照ください)
2. Start(スタート)ボタンを押します。
 - ・ **160min** が点滅します。
 - ・ その他の表示ランプが消灯します。
 - ・ 現在の設定がディスプレイに表示されます。
3. Startボタンを押して設定をします。Startボタンを押すごとに表示が切り替わるので、どちらかを選びます。
 - ： **10** はエアドライが作動します。（有効）
 - ： **00** はエアドライは作動しません。（無効）
4. 電源ボタンを押して、設定を確定します。

洗剤とリンス剤について

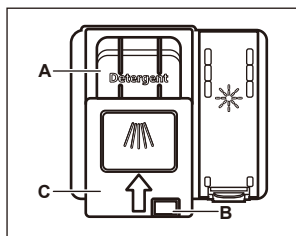
食器洗い機専用洗剤及びリンス剤をご使用前に、パッケージの取扱い説明をよくお読みください。メーカーの指示に従い、汚れ具合に応じた正しい量をお守りください。

【洗剤】 洗浄時間が短いコースの場合、溶け切らずに残留することがあります。また量が足りないと、食器汚れの脂などが残留して故障の原因となります。食器や庫内、排水ホースなどにこれらの残りかすが付着しないよう、また洗い残しを防ぐためにも必ず量を守り、洗浄時間の長いコースで使用することをおすすめします。

【リンス剤】 リンス剤は乾燥工程のときに、ガラスの曇りや水滴跡が残らないように水をはじきやすくし、余熱乾燥の効果を高めます。食器を美しく保つためにも、リンス剤の使用をおすすめします。

■ 洗剤を入れる

1. リリースボタン (B) を押して、洗剤ディスペンサーの蓋 (C) を開きます。
2. 粉末、ジェルあるいはタブレットのいずれかの食器洗い機専用洗剤をディスペンサー (A) に入れます。
3. 洗剤ディスペンサーの蓋を閉め、リリースボタン (B) がしっかりと固定されていることを確認します。

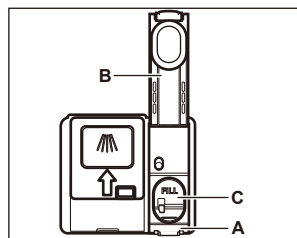


⚠ 注意

- ・食器洗い機専用の洗剤を使用してください。
- ・洗剤の量は洗剤容器に記載されている指示に従ってください。
- ・(B)のコンパートメントの上の線がジェルの最大量(30ml)です。

■ リンス剤を入れる

1. リリースボタン (A) を押してリンス剤ディスペンサーの蓋 (B) を開きます。
2. 「FILL」の印までディスペンサー (C) にリンス剤を補給します。
3. こぼれたリンス剤は吸水性のよい布で拭き取ってください。洗浄プログラム中に泡が立ちすぎるのを防ぎます。
4. リンス剤ディスペンサーの蓋を閉め、リリースボタン (A) がしっかりと固定されていることを確認します。



※リンス剤の補充が必要なときは、操作パネルのリンス剤補充お知らせ  が点灯します。

⚠ 注意

- ・食器洗い機専用のリンス剤を使用してください。
- ・ディスペンサー (C) には、リンス剤以外のものを入れないでください。

使い方の手順

使い方の主な流れは以下の手順となります。洗浄をスタートする前に、ゴミフィルターやスプレーアームの詰まりがないこと、また正しく取り付けられているかを必ず確認し、手順を守ってお使い下さい。

⚠ 注意

- ・中性洗剤を使った下洗いはしないでください。
- ・食器洗い機専用の洗剤を使用してください。



1. 給水栓を開けます。
2. 汚れた食器をバスケットに正しく入れてください。
3. 正しい量の食器洗い機専用洗剤を入れます。
4. 電源ボタン **1** を押して、本機の電源を入れます。
※P.10「各部の名称」及び P.11「操作パネル」をご参照ください。
※リンス剤補充の表示ランプが点灯したら、リンス剤を入れてください。
5. 食器の種類と汚れ具合に応じて、適切な洗浄コースを選びます。(P.12「洗浄コースリスト」をご参照ください)。
6. 必要に応じて使用可能なオプションを追加します。
7. Start (スタート) ボタンを押して洗浄コースを開始します。
8. 洗浄プログラム終了後は、電源ボタンを押すか、オートオフ機能で電源が切れるのを待ちます。
9. エアドライが作動し、余熱乾燥が継続しています。庫内の食器が冷めたら、食器を取り出します。
10. 給水栓を閉めます。

洗浄コースの設定と開始

■ 洗浄コースの設定

1. 本機の電源を入れてください。洗浄コース選択モードになってドアが閉まっていることを確認してください。(P.15「各種設定」をご参照ください)
2. Program (洗浄コース選択) ボタンを希望の洗浄コースの表示ランプが点灯するまで繰り返し押します。
液晶ディスプレイに運転時間が表示されます。
3. 必要に応じてオプション機能を選択してください。
4. Start(スタート)ボタンを押して、洗浄コースを開始します。
 - ・運転中の工程の表示ランプが点灯します。
 - ・液晶ディスプレイに表示される運転時間は1分ずつカウントダウンしていきます。

■ Delay(スタート予約)を使って洗浄するには

1. 洗浄コースを選択します。
 2. Delay(スタート予約)ボタンを希望する洗浄開始までの時間(1～24 時間まで1 時間毎)が表示されるまで繰り返し押します。
 3. Start(スタート)ボタンを押すとカウントダウンを始めます。
 - ・スタート予約表示ランプ  が点灯し、カウントダウンが始まったことをお知らせします。
 - ・カウントダウンは1時間毎に表示が変わります。運転開始までの残り時間が1時間を切ったら1分毎にカウントダウンしていきます。
- ※カウントダウンが終了すると選択された洗浄コースが開始し、運転時間が表示されます。スタート予約の表示ランプ  は消灯し、運転中の工程の表示ランプが点灯します。

■ 運転中にドアを開けると

運転中にドアを開けると、洗浄コースが止まるため、消費電力や運転時間に影響を及ぼす可能性があります。ドアを閉じると、洗浄コースが中断されたところから再開します。

※エアドライの工程でドアが開いているとき以外で、乾燥工程中に30秒以上ドアを開けると、運転は終了します。

※エアドライ機能が作動してドアが開いた後、2分間はドアを閉めないでください。故障の原因となります。また、ドアは自動的に閉まりません。(P.16「エアドライ」を参照)

■ カウントダウン中に Delay(スタート予約)を取り消すには

スタート予約をキャンセルしたいときは、改めて洗浄コースやオプション機能を選択する必要があります。

1. 本機のドアを開けます。
2. Delay(スタート予約)と Option(オプション)ボタンを洗浄コース選択モード(P.15「各種設定」を参照)になるまで同時に押します。

■ 運転中の洗浄コースを取り消すには

1. 本機のドアを開けます。
2. Delay(スタート予約)と Option(オプション)ボタンを洗浄コース選択モード(P.15「各種設定」を参照)になるまで同時に長押しします。

※新しい洗浄コースを再度設定する前に洗剤ディスペンサーに洗剤が入っているか確認してください。

■ Auto Off(オートオフ)機能

本機の運転停止時に、自動的に電源を切ることで、消費電力の削減を行う機能です。この機能は下記の場合に作動します。

- ・洗浄コース終了後
- ・洗浄コースを開始しないまま5分が経過したとき

■ 洗浄コースの終了時には

洗浄コースが終了すると、電源が自動的に切れ、電源ボタン以外の全てのボタンが反応しなくなります。最後に水栓を閉めます。

洗浄効果を上げるためのワンポイント・アドバイス

最適な洗浄と乾燥効果を得るため、また、環境を保全するために、下記にそってご使用ください。

■ 全般

- ・あらかじめ食器から大きな残菜を取り除きましょう。
- ・手洗いでの予備洗いはせずに、汚れたままの食器を庫内に入れましょう。
- ・使用時にはバスケットを食器で満杯にしましょう。
- ・食器を入れる時には、スプレーアームのノズルから出る水流が食器の汚れに当たるように並べましょう。
- ・食器同士が重なったり、当たらないように入れましょう。
- ・洗浄する食器の量と汚れの度合いに合わせて洗浄コースを選択しましょう。ECOコースでは、通常の汚れの食器やナイフ・フォーク類を最も効率的な水と電気を使用して洗浄することができます。

■ 洗剤、リンス剤の使用にあたって

- ・洗剤とリンス剤は、必ず食器洗い機専用のものでお使いください。専用製品以外の使用は、故障の原因となります。
- ・短時間洗浄コースでは洗剤タブレットが完全に溶けきらないことがあります。洗剤タブレットを使用する場合は、食器に洗剤が残らないよう、長時間コースをご使用ください。
- ・洗剤は規定量以上を入れないでください。使用前に、洗剤パッケージにある使用量の目安を確認してからお使いください。

■ バスケットに食器を入れるとき

⚠ 注意

本機では、食器洗い機の洗浄に適した食器や鍋のみを洗ってください。

- ・食器洗い機の洗浄に耐えられない繊細な食器は洗わないでください。
- ・木製、角製、アルミニウム、錫、銅製食器は洗わないでください。
- ・水を吸ってしまうような素材(スポンジや布)の物は洗わないでください。
- ・食器をバスケットに入れる前に、大きな残菜を取り除いてください。
- ・カップやグラス、フライパンなどは開口部を下に向けて入れてください。
- ・ガラス製の食器は互いがぶつからないように入れてください。
- ・小さな物は、ナイフ・フォーク類用バスケットに入れてください。
- ・軽い食器は、強い水流で動かないよう上段バスケットに入れてください。

⚠ 注意

洗浄を開始する前に、スプレーアームが食器に当たらずに回転することを確認してください。

⚠ 注意

食器洗い機に食器や鍋を入れてすぐに洗浄しないとき、あるいは食器を取り出した後は、必ずドアを閉めてください。ドアを開けたままにすることは、大変危険です。

■ 洗淨を始める前に

以下の項目を必ずご確認ください。

- ・ゴミフィルターに残菜が付着していないこと。また、フィルターが正しく取り付けられていること。
- ・スプレーアームの噴出口に目詰まりがないこと。
- ・リンス剤が投入されていること。
- ・洗剤は、適正な量が投入されていること。
- ・バスケット内の食器が正しく入っていること。
- ・食器の量や汚れの度合いに合った洗淨コースが選択されていること。

■ バスケットから食器を取り出すとき

- ・食器を庫内から取り出すときは、食器が冷えてから取り出してください。熱いまま取り出すと、食器が破損することがあります。
- ・食器を取り出すときは、最初に下段バスケットの食器を取り出し、次に上段バスケットの食器を取り出しましょう。上段バスケットの水滴が下段バスケットに落ちるのを防ぐことができます。

⚠ 注意

洗淨が終了した後、庫内のステンレスの壁やドアの内側に水滴が残ることがあります。そのまま放置しておいても構いませんが、気になる場合は拭き取ってください。

食器の入れかた

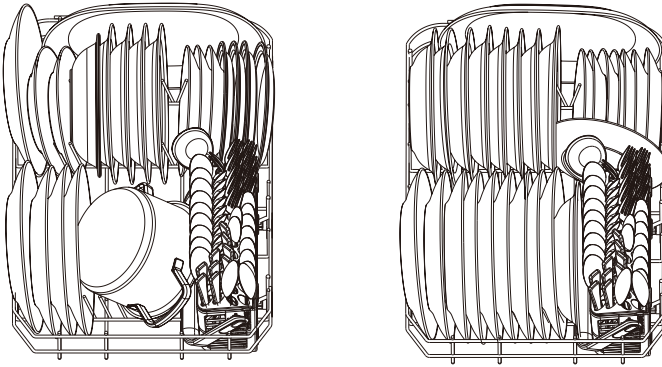
最適な洗淨と乾燥効果を得るため、以下の注意と P.8「食器類についての注意」をよくお読みになり、正しく入れてください。

⚠ 注意

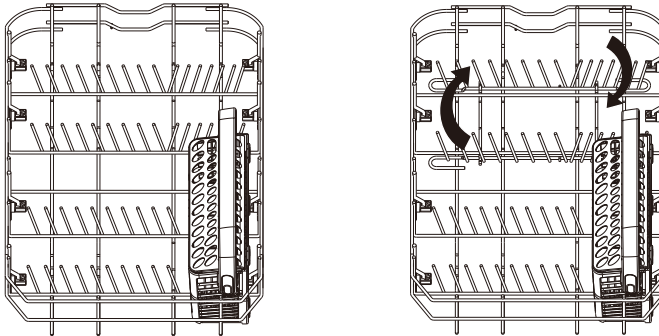
- ・使用時にはバスケットを食器で満杯にしましょう。
- ・カップやグラス、フライパンなどは開口部を下に向けて入れてください。
- ・食器同士が重なったり、当たらないように入れましょう。特にガラス製など繊細な食器は、互いにぶつからないように入れてください。
- ・スプレーアームのノズルから出る水流が食器の汚れに当たるように並べてください。また、スプレーアームが食器に当たらずに回転することを確認してください。
- ・食器洗い機に食器や鍋を入れてすぐに洗淨しないとき、あるいは食器を取り出した後は、必ずドアを閉めてください。ドアを開けたままにすることは、大変危険です。

■ 下段バスケット

片手鍋、蓋、皿、サラダボウル、ナイフ・フォーク類は下段バスケットにセットしてください。
また大皿や大きい蓋は、バスケットの外枠に近い位置にセットしてください。



下段バスケットの皿立て用の突起は、大型の皿、鍋、フライパン、ボウルなどをセットする際に、平らに折りたたむことができます。

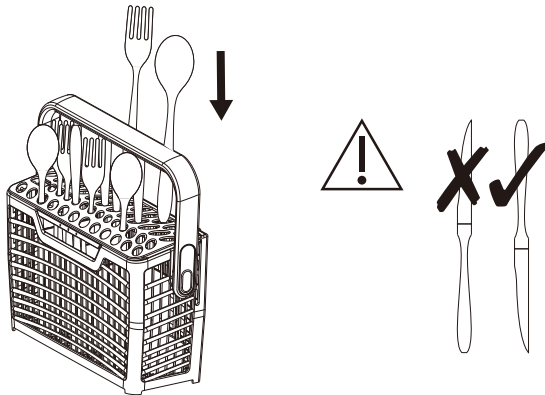


■ ナイフ・フォーク類用バスケット

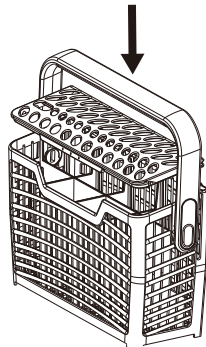
⚠ 警告

刃の長いナイフを直立した状態で収納することは事故の原因になります。
肉切りナイフなどのように長かったり鋭利なナイフ・フォーク・スプーン製品は、
上段バスケットに水平に置くようにしてください。
また、ナイフなどの鋭利なものをセットしたり取り出したりするときは、十分に注意
するようにしてください。

- ・ フォークやスプーンなどは、柄の部分を下にして差し込みます。
- ・ ナイフ類は、柄の部分を上にして差し込んでください。
- ・ スプーン同士がからまないように、間に他のものを差し込んでください。
- ・ 必要に応じて、ナイフ・フォーク類用グリッドを使用してください。
- ・ ナイフ・フォーク類のサイズが大きく、グリッドを使用できない場合は、グリッドを外側にたたんでおくことができます。



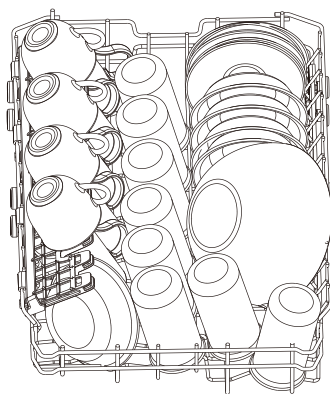
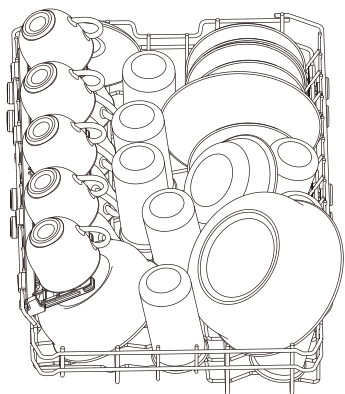
i バスケットを持つときは、ハンドル部分をしっかりと持ってください。



■ 上段バスケット

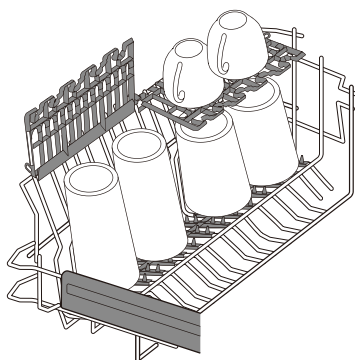
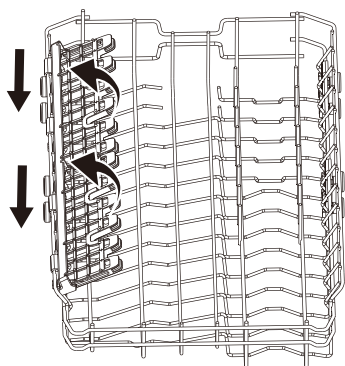
上段バスケットには、プレート（デザート皿、受け皿）、サラダボール、カップ、グラスなどをセットします。

食器類の表面全体に水が当たるように、配置を調整してください。

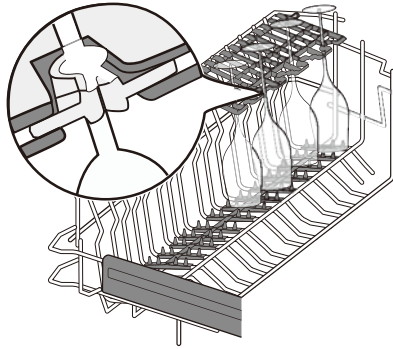


丈の高い食器の場合は、カップ用ラックを立ててご使用ください。

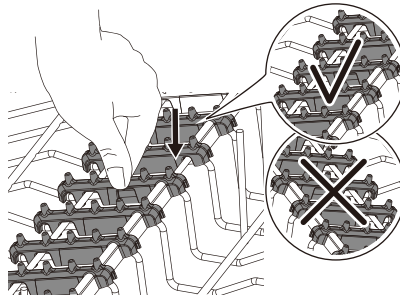
カップ用ラックをご使用にならない場合は、一度持ち上げてから、内側に倒してください。



ワイングラスなどは、枝の部分カップホルダーのソフトグリップに、グラスはソフトスパイクにしっかりと固定します。



ソフトグリップを取り外した場合は、向きや位置に気を付け、バスケットに沿って正しく設置してください。



■ 上段バスケットの高さ調節

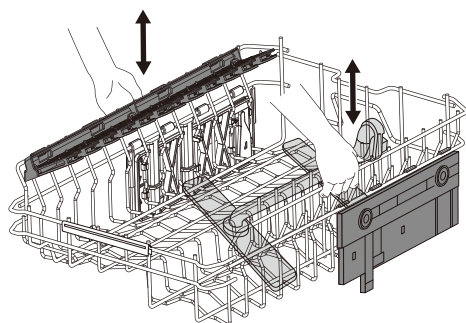
より多くの食器類をセットするために、上段バスケットの高さを調節することができます。

上段バスケットを高位置まで持ち上げる場合は、次の手順で行います。

1. バスケットを、それ以上動かさない位置まで引き出します。
2. バスケットがきちんとはまり安定するまで、両側を持ってゆっくりと持ち上げてください。

上段バスケットを低位置まで下げる場合は、次の手順で行います。

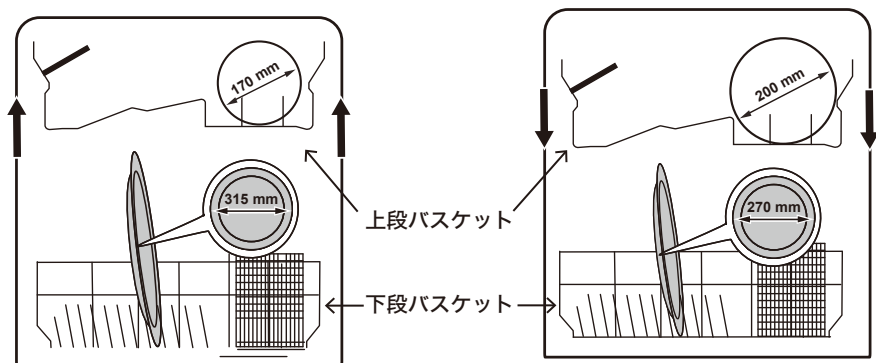
1. バスケットを、それ以上動かさない位置まで引き出します。
2. 両側を持って一度ゆっくりと持ち上げ、その後ゆっくりと下げます。



⚠ 注意

- バスケットの片側だけを持って持ち上げたり、下げたりしないでください。
- バスケットを持ち上げたとき、カップ用ラックにカップを置かないでください。

i 下図のようにバスケットの高さによって食器の大きさの上限が変わります。上限を守ってご使用ください。



お手入れとクリーニング

⚠ 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす事故・ケガ・感電・ショートの恐れがあります。

庫内や食器の温度に気をつける

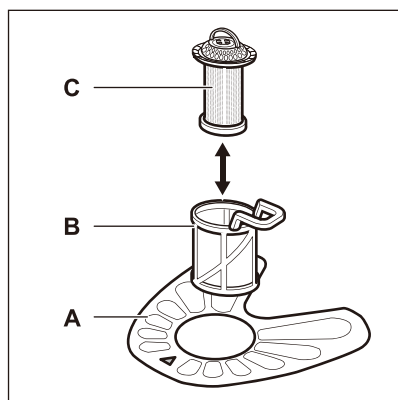
食器の取り出し、フィルターの掃除、お手入れは運転終了後約60分以上経過してから行ってください。食器破損、やけどの恐れがあります。

■ フィルターの取り外しおよび掃除方法

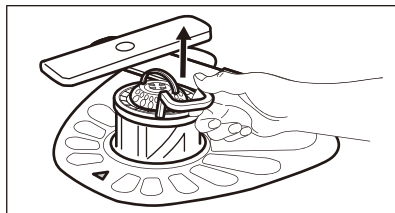
本機には3種類のフィルターが取り付けられています。

必要に応じてフィルターをクリーニングしてください。

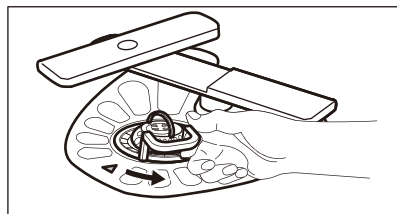
フィルターが汚れていると十分な洗浄効果が得られません。



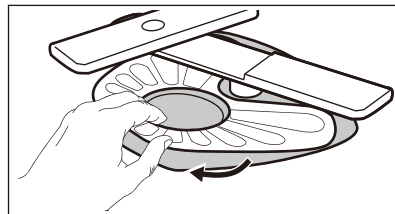
2. フィルター (C) をフィルター (B) から取り出します。



1. フィルター (B) を反時計方向に回して、取り外します。



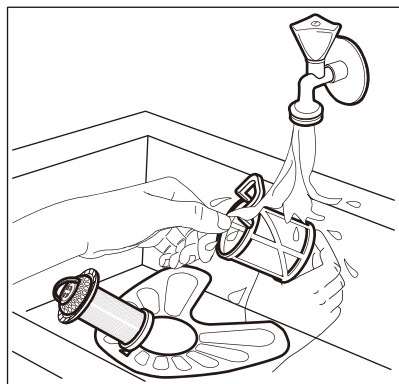
3. 本体の底部から平フィルター (A) を取り外します。



⚠ 注意

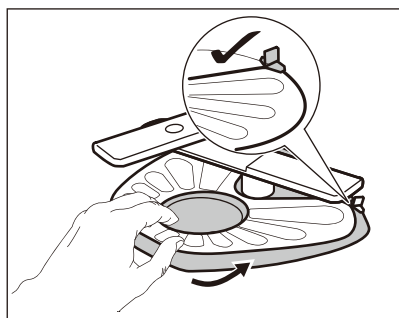
フィルターを取り付けずに本機を操作することは、絶対に行わないでください。また必ずフィルターの取り付けが正しいことを確認してから本機を操作してください。取り付けが正しくないと、十分な洗浄効果が得られないほか、故障の原因となります。

4. 取り出したフィルターをよく水洗いします。

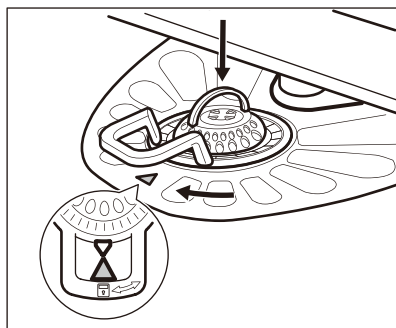


5. 食べ物のかすや汚れがフィルター槽内または回りから除去されていることを確認してください。


6. 平フィルター (A) を元の場所に戻します。2つの目印とぴったりと正しく合っているか、ご確認ください。



7. フィルター (B) と (C) を組み立てます。
8. フィルター (B) を平フィルター (A) に戻します。固定されるまで、フィルター (B) を時計方向に回します。



■ 庫内と表面の掃除

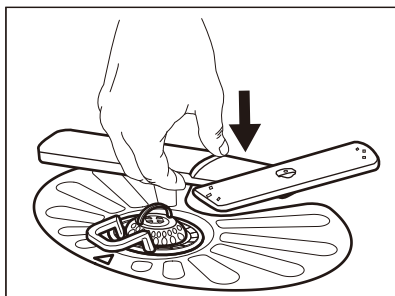
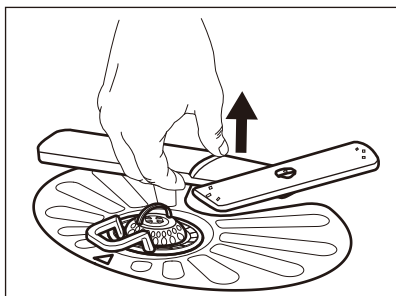
- ・ 本体の表面と操作パネルは濡れた柔らかい布で掃除します。
- ・ 本体表面の掃除に洗剤を使用する場合は、中性洗剤のみを使用し、最後に水拭きでしっかり洗剤を取り除いてください。
- ・ 研磨剤の入ったもの、研磨パッド、鋭利な道具、溶剤の使用は避けてください。
- ・ ドア周囲のパッキンや庫内を定期的に確認し、湿らせた布で細部まで掃除してください。
- ・ 庫内を清潔に保つために、 (マシーンケア) の洗浄コースを使用してください。食器洗い機庫内洗浄用洗剤を使い、2か月に1度の洗浄をおすすめします。

■ スプレーアーム(下部 / 上部)の掃除

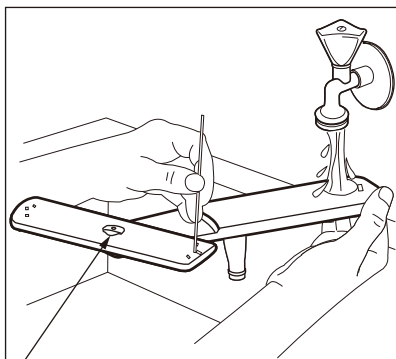
スプレーアーム (下部/上部) の穴の詰まりは、洗い上がりが悪くなる原因となります。穴が詰まらないよう、定期的にお手入れしてください。

【下部スプレーアームの場合】

1. 下部スプレーアームを上を引き上げて取り外します。
3. 下部スプレーアームを下方向に押し、元の位置に戻します。



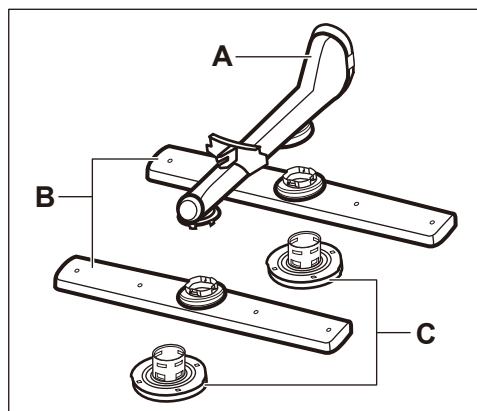
2. 下部スプレーアームを水道水で洗い流しながら、つまようじなどで穴の汚れを取り除きます。



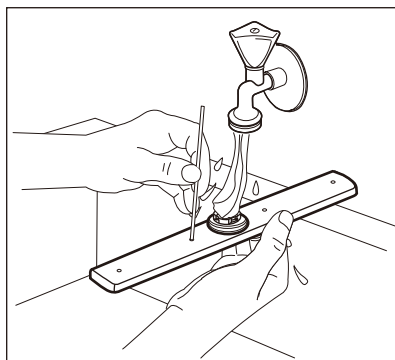
※このネジが緩んでいないか確認してください。

【上部スプレーアームの場合】

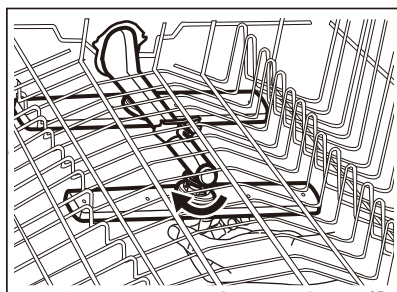
上段スプレーアームは上段バスケットの下に設置してあります。スプレーアーム (B) は取り付け材 (C) により、デリバリーチューブ (A) に接続されています。



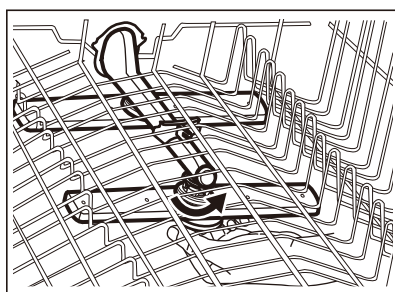
3. 上部スプレーアームを水道水で洗い流しながら、つまようじなどで穴の汚れを取り除きます。



1. 上段バスケットを引き出します。
2. 取り付け材 (C) を時計回りに回し、スプレーアーム (B) をデリバリーチューブ (A) から取り外します。



4. 取り付け材 (C) をスプレーアーム (B) に入れ、デリバリーチューブ (A) に差し込み、反時計回りに回して固定します。取り付け材 (C) がしっかり固定されているか確認してください。



故障かな？と思ったら



本取扱説明書をもう一度よくお読みになり、正しい使い方をお確かめください。下表にそって点検を行い、それでも症状が改善されない場合、まずはお買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートにお問い合わせください。不具合によってはエラーコードが表示されますので、コード番号も合せてお知らせください。点検のために運転の途中で電源を切った場合、もう一度電源を入れると中断していたところから運転が再開されます。

⚠ 警告

- ・点検後も正常に動かなかったり、明らかに異常がある場合は、すぐ給水栓を閉め、電源プラグを抜くか専用ブレーカーを落とし安全を確保する
- ・修理技術者以外は修理や分解をしない
火災・事故・ケガ・感電・水漏れ・故障の恐れがあり危険です。お買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートにお問い合わせください。

はじめに確認してください

以下の解決方法を試す前に食器洗い機の電源を一度切り、再度電源を入れて試してください。電源を入れ直すことで改善する場合があります。

問 題	考えられる原因	処 置
本機庫内に水が給水されない。 エラーコード：  または 	ご家庭の水圧が低すぎる。	お住まいの地域の水道局、または水道業者に連絡します。
	給水栓が閉じている。	給水栓を開きます。
	給水ホースの接続が正しくない。	正しい取り付けかたを設置マニュアルで確認します。
	排水ホースの立ち上げ位置が設置マニュアルの通りではない。	排水管が床底から4～500mm、排水ホースの高さが600mm以内かを確認します。

問 題	考えられる原因	処 置
本機庫内の水が排水されない。 エラーコード： E20	排水ホースの接続や配置が正しくない。	必ず正しく接続するようにします。
	排水ホースが破損している。	排水ホースが破損していないかどうか確認します。
	排水ホースまたは内部フィルターシステムのフィルターが詰まっている。	フィルターを掃除します。
水濡れ防止装置が作動している。 エラーコード： E30	給水栓を閉じ、本機の周辺に水漏れしていないかを確認してから、エレクトロラックス お客様サポートにご連絡ください。	
電源が入らない。	電源プラグがコンセントに接続されていない。	電源プラグを差し込みます。
	電源が200Vではない。	設置マニュアルの指定どおり、電源が200V、かつアースが接地されているかを確認します。
	ブレーカーが落ちている	ブレーカーボックスを確認してください。
洗浄プログラムが開始されない。	本機のドアが開いている。	ドアを閉めます。なお、設置マニュアルどおりに正しく設置していない場合はドアが正しく閉まらないため、コースが中断されることがあります。
	スタート予約が設定されている。	スタート予約を取り消します。 (P.19参照) なお、カウントダウンが終了すると、洗浄は自動的にスタートします。
動作が停止し次の動作まで時間がかかる。	誤動作ではありません。最適な洗い上がりや省エネのために時間がかかることがあります。	
プログラム終了までの時間が長い。	オプションを設定すると洗浄時間が長くなることがあります。	オプションを設定しないでお試しください。
	スタート予約が設定されている。	スタート予約を取り消すか、開始までお待ちください。
ディスプレイの運転見込み時間が増えたり、終了間際の時間まで飛んで表示される。	表示される時間は、洗浄終了までの目安です。	水圧や水温、オプション、食器類の量や汚れ具合により表示される洗浄時間が変わる場合があります。また、夏と冬では温水になるまでの時間の違いから、冬のほうが表示時間が多くなります。

問 題	考えられる原因	処 置
ドアから水漏れする。	本体が水平・垂直に設置されていないなど、正しく固定されていない。またはドアの取り付けがずれている。	設置が水平・垂直でない場合は各調節脚を調節してください。詳しくは設置マニュアルを確認します。
ドアが開けづらい。	本体が水平・垂直に設置されていない。	設置が水平・垂直でない場合は各調節脚を調節してください。詳しくは設置マニュアルを確認します。
	中の食器類が引っかかっている。	食器類は正しい位置に入れるようにしてください。
中からガタガタと音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ・食器類が正しく入っていない ・スプレーアームが食器や鍋の取っ手などに接触して回っていない 	食器を正しく入れ直してください。P.20-26「洗淨効果を上げるためのワンポイントアドバイス」を参照。
ブレーカーが落ちる。	ブレーカー容量が不足している。	電源のアンペア数や電気量を確認してください。複数の電化製品を同時に使用することは控えてください。
	電気系統の不具合の場合があります。	給水栓を閉めてからブレーカーを上げずに、エレクトロラックス お客様サポートにご連絡ください。
電源が入っているが作動せず、ディスプレイに PF が表示される。	電気が供給されていない。	洗淨コースは一時的に中断されます。復旧すると自動的に再開されます。
途中で電源が切れる。	停電が起きた。	洗淨コースは一時的に中断されます。復旧すると自動的に再開されます。

■ 洗浄結果に満足できないとき

問 題	考えられる原因	処 置
洗い上がりに満足がいかない。	マニュアルをお読みになり、本機の使用手法やP.20-26「洗浄効果を上げるワンポイントアドバイス」を再度ご確認ください。	
	汚れが強すぎて、洗浄コースが合っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ より強い洗浄コースで洗ってください。 ・ オプションのエクストラパワーを追加してください。
	スプレーアームやフィルターが目詰まりしている。またはスプレーアームが食器などに接触している。	食器がバスケットから出ているかを確認し、スプレーアームとフィルターをきれいに洗ってください。P.27「お手入れとクリーニング」を参照。
乾燥の仕上がりに満足がいかない。	リンス剤が空になっている。	リンス剤を投入してください。
	リンス剤注入量が足りない。	リンス剤注入レベルを上げてください。P.15「リンス剤注入レベル」を参照。
	庫内にプラスチック製の食器が多く入っている。	乾燥が不十分なときはタオルなどで拭いてください。
	エアドライがOFFになっている	エアドライをONにしてください
	乾燥の工程がない洗浄コースを選択している	洗浄コースを確認してください
食器の汚れがきれいに落ちない。	食器の種類や汚れの程度に適した洗浄コースではなかった。	必ず食器の種類や汚れの程度に適した洗浄コースを選択するようにします。
	すべての食器にくまなく水が当たるよう、正しくバスケットの中にセットしなかった。	バスケットの中に食器類を正しくセットします。
	食器を正しくセットしていないため、スプレーアームが自由に回転していない。	不適切な食器のセットの仕方ですプレーアームの動きを妨げていないか確認します。
	フィルターが汚れている、または組み立てや取り付けが正しくない。	フィルターがきれいか、きちんと組み立て・取り付けられているか確認します。
	洗剤の量が少なすぎる、または補充されていない。	必ず洗剤の量が十分か確認します。
グラスや食器にすじ、白っぽい斑点、青っぽい膜などが付着している。	リンス剤の量が多すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リンス剤の量を減らします。 ・ リンス剤注入レベルを下げてください。

問 題	考えられる原因	処 置
グラスや食器にすじ、白っぽい斑点、青っぽい膜などが付着している。	洗剤の量が多すぎる。	洗剤の量を減らします。
乾いた水滴の跡がグラスや食器についている。	リンス剤の量が少なすぎる。	リンス剤の量を増やします。
	洗剤が原因の場合があります。	違う洗剤に変えてみます。
食器が濡れている。	乾燥工程抜き、もしくは乾燥工程短縮のコースを選択した。	食器をすっかり乾燥させるには、数分間ドアを半開き状態にしておきます。
食器類が濡れて曇っている。	リンス剤ディスペンサーが空になった。	リンス剤ディスペンサーにリンス剤を注入してください。
	最終すすぎの水温が低い。	短時間で終了するコースはすすぎの水温が低く、余熱が残りにくくなります。高温のコースを一度お試しください。
	乾燥工程のないコースを選んだ。	洗浄コースを確認してください。
	リンス剤が原因の場合があります。	違うリンス剤に変えてみます。
	乾燥効果を高めたいときは、エアドライをONにしてください。オプションのExtraPowerを追加してください。	
庫内が濡れている。	不具合ではなく、湿度の高い空気が壁面で液状化したものです。	運転後、しばらくドアを開けておいてください。
洗浄時の通常とは泡立ちが異なる。	食器洗い機以外の洗剤を使っている。	洗浄時は高温になるため、中性洗剤などは絶対に使用せず食器洗い機専用の洗剤をお使いください。故障の原因となります。
	リンス剤ディスペンサーから漏れがある。	エレクトロラックス お客様サポートにご連絡ください。
食器類にさびの跡がある。	銀製品とステンレス製の食器を一緒に入れている。	銀製品とステンレス製食器類を一緒に置かないでください。
コース終了後も洗剤が残っている。	洗剤が洗剤コンパートメントに詰まり、水で完全に洗い流されていない。	スプレーアームが詰まっていないか確認します。
	食器を詰めすぎて洗剤コンパートメントのふたが開かない。	バスケット内の食器類が、洗剤コンパートメントのふたが開くのを妨げていないか確認します。
	下段バスケットの手前に背の高いものを入れているため、洗剤コンパートメントのふたが開かない。	下段バスケットの手前に背の高いものを入っていないか確認します。

問 題	考えられる原因	処 置
庫内が臭う。	P.27「お手入れとクリーニング」に従い、お掃除してください。	
食器や庫内に石灰が蓄積する。	洗剤が原因の場合があります。	洗剤メーカーにお問い合わせください。
	食器洗い機専用の庫内洗浄剤を使い、マシーンケアで庫内を洗浄してください。	
食器類のくすみ、色落ち、欠け。	熱湯での強い洗浄に耐えられない素材の食器である。	本機には食器洗い機で洗浄できるものだけを入れてください。
	洗浄中は高水圧の水が食器に当たるため、正しく入れていなかった食器が接触してかけた。	バスケットへの食器の出し入れは丁寧に行ってください。P.20-26「洗浄効果を上げるためのワンポイントアドバイス」を参照。
	材質のデリケートなものが下段バスケットに入っている。	繊細な食器類は上段バスケットに入れてください。

■ 乾燥システムについて

本機は「余熱乾燥方式」を使用して食器を乾かしています。

【余熱乾燥の流れ】

1. すすぎ工程で高温のお湯を使い食器を温める。
2. 乾燥工程で、食器の水分が蒸気となって発生する。
3. ステンレスの庫内壁面は食器よりも冷たく、庫内に温度差が発生する。
4. 食器から出た温かい蒸気は冷たい壁面の方向に流れる。
5. 蒸気は壁面で結露し、水に戻って流れ落ちる。

【エアドライで余熱乾燥をさらに促進】

・ドアが開くことで庫内の蒸気が逃げ、壁面温度も下がるため、乾きやすくなる。

【余熱乾燥方式のメリット】

- ・余熱を利用するため余分な電力を使わない。乾燥時の消費電力は待機電力とほぼ同じ。
- ・熱風乾燥(強制乾燥)を行わないので、食器が傷みにくい。

【余熱乾燥方式のポイント】

- ・「エアドライ」の設定をONにして使用することをおすすめします。
- ・食器の量が多いほど食器どうしの蓄熱効果が高くなります。庫内を満杯にして、まとめて洗いましょう。
- ・くぼみや茶碗の糸底に水が残ることがあります。初期は水流に対して直角になるように入れましょう。
- ・より乾燥効果を上げるため、リンス剤を注入することをおすすめします。

※プラスチック・木・ステンレスのザルなどは蓄熱しにくい素材のため、水気が残ることがあります。その場合は水気をふき取り、自然乾燥させてください。

使用を終了した家電製品は正しくリサイクル

不適切な処分をすると、深刻な環境汚染を引き起こす恐れがあります。豊かな自然と人々の生活を守るために家電製品は使い終わったら正しくリサイクルしましょう。

- お客様が買い替えをする販売店か、お買い上げいただいた販売店に引取りの依頼をしてください。設置技術者でないと本機をビルトインユニットから安全に取り外すことができません。
- 販売店へ引取りの依頼ができない場合には、処分方法をお住まいの自治体のリサイクル担当窓口にお問い合わせください。
- 本機を他の人に譲渡されるときや信頼できるリユース(中古)ショップに買い取ってもらうときは、必ずこの取扱説明書と設置マニュアルを添付してください。設置マニュアルがないと正しい設置ができません。

警告

引取りのため、本機を屋外に借り置きするときは、事前に使用不能にしてください。電源コードからプラグを取り外し、電源コードを切断し、ドアパッキンは外してドアが閉まらないようにしてください。これは、お子さまが本機に閉じこめられる事故など（窒息する危険）を防止するためです。

禁止

無許可の回収業者に絶対に渡さない

家電製品を処分するときに、廃棄物処理法の許可を得ていない回収業者に絶対に渡さないでください。ご家庭の不要品を回収するには、廃棄物処理法に基づく「一般廃棄物収集運搬業の許可」又は「市町村の委託」が必要です。

■ 梱包材について

すべての梱包材は環境保護に配慮されており、焼却時の危険性もありません。使用されているプラスチック類はリサイクルが可能で、分別が容易なように、次のように表記されています。また、段ボールは再生紙でできています。

>PE<：ポリエチレン（外側の覆いや庫内の袋など）

>PS<：ポリスチレン発泡体（パッドなど）

梱包材をリサイクルまたはゴミに出す時は、お住まいの自治体の分別に従ってください。

警告

製品の梱包材はお子様の近くに置かない



ビニール・発泡スチロール・段ボールなどの梱包材は、お子様にとって窒息事故・ケガの恐れがあります。

アフターサービスおよび修理規定

- アフターサービスは、日本国内居住のお客様に限り対応させていただきます。
- 一般家庭において、取扱説明書・設置マニュアル・本体貼り付けラベルなどの注意書きにそって正常に使用されたにもかかわらず故障した場合は、本規定により出張修理をさせていただきます。
- 製品をより安全に、長くご使用いただくため、プロによる自主点検をおすすめしております。点検に関しては、エレクトロラックス お客様サポートにお問い合わせください。

① 保証期間中の場合

- ・ 本製品の保証期間は、お買い上げの日から3年間です。
- ・ 保証期間を有料で2年間または7年間追加することができます。詳細はエレクトロラックス お客様サポートまでご連絡いただくか、ホームページをご覧ください。なお、販売店が独自に定める延長保証（保険）などには対応できません。直接、保険を販売する事業者もしくは販売店にご相談下さい。弊社では一切の責任を負いかねます。
- ・ 技術者が伺った際に、製品保証書（P.41）もしくはお買い上げ日の分かる納品書をご提示ください。ただし、保証期間内でも有償となる場合がありますので、事前に、必ず本修理規定③をご覧ください。
- ・ 弊社では、製品修理以外の一切の責任を負いかねます。

② 保証期間が過ぎている場合

- ・ 修理が可能な場合には、ご要望により出張修理をいたします。（※）
※ 点検した際に、修理不能と診断される場合もありますので、予めご了承をお願いします。

③ 保証期間中でも以下の場合は有償修理、もしくは修理をお断りすることがあります。

- 1) 業務用・医療機関や介護施設など・車両や船舶などへの搭載・屋外での使用・共用スペースに置かれている場合
- 2) 使用上の誤りによる故障、不当な修理や改造などによる故障および損傷
- 3) 本製品付属の設置マニュアルが指定する方法以外での設置状況が原因と思われる不具合や故障および損傷など
- 4) お買い求め後の取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷
- 5) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変・塩害・公害や異常電圧・指定外の使用電源などによる故障および損傷
- 6) 離島および離島に準ずる遠隔地では、修理の訪問に日数を要したり、対応ができない場合があります。
- 7) 製品保証書または納品書などに、お買い上げ日の記載がないもしくは字句を書き換えられた場合
- 8) 製品の取り扱い説明など、故障以外での出張訪問
- 9) 使用中に生じた傷などの外観上の変化

④ 贈答や転居される場合

- ・ アフターサービスについては、事前にお買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートにご相談ください。

修理のご依頼について

修理を依頼される前に、P.31『故障かな？と思ったら』に従ってお調べいただき、それでも異常がある場合は・・・

- ① 使用を中止し、必ず給水栓を閉めてから電源プラグを抜くか、本機専用の単独ブレーカーを落とし、お買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートにお問い合わせください。
 - ② 製品保証書 (P.41) を事前にご用意頂き、モデル名・製品番号・製造番号・お買い上げ日・できる限り詳しい故障内容(電源自体が入らない・エラー番号が出るなど)を、お買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートへお申込みの際にお知らせください。
- ※ 製品保証書は、本書に明示した期間、修理規定に従って修理をお約束するものです。従って、製品保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間終了後の修理などについてご不明な点があれば、エレクトロラックス お客様サポートにご相談ください。

⚠ 警告



修理技術者以外は分解や改造および修理をしない

技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

■ 補修用性能部品について

重要

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理料金の仕組みについて

①出張費	製品の設置現場まで技術者が訪問する際の費用となります。別途、高速料金、駐車料金をいただくことがあります。
②技術料	技術者が、点検・診断・部品交換などを行う際の弊社の定める修理技術工賃です。
③部品代	製品の修理・補修・その他部材などを使用した際の部品代金です。

商品の情報・設置・お取り扱いについてのご相談は	修理に関するご相談・お申し込みは
● TEL : 0570-062-888 (ガイダンス後に3番を押してください)	エレクトロラックス お客様サポート ● フリーダイヤル : 0120-54-0202
月～金曜日 : 9:00AM ~ 5:00PM ※土日祝日および年末年始はお休みさせていただきます。	

※ 出張修理のご用命は弊社ホームページからもお申し込みいただけます。

※ ご連絡いただく前に、銘板に記載されているモデル名、11桁のPNC番号をお控えの上、お問い合わせください。銘板の位置はP.10「各部名称」の4をご覧ください。

仕様


品名	全自動食器洗い機
型名	FEE73407ZM
設置方法	ビルトイン
定格電圧	単相200 - 240 V
定格周波数	50/60 Hz
消費電力	1550 - 2200 W
水道水圧	0.05 - 0.8 Mpa
標準使用水量	9.9 L [*]
洗浄容量 (IEC規格)	9人分
コース数	9
外形寸法 (W×D×H)	W446 × D570 × H818-898 mm
開口寸法 (W×D×H)	W450 × D580 × H820-900 mm
重量	38.5 Kg

※選択したプログラムにより使用水量は異なります。

■ 製品情報や点検期間の表示場所

主な仕様や製品番号(P.N.C)および製造番号(S.N.)、製造年月日、点検期間などの情報はドア内側にある銘板に記載されています。

愛情点検 長年ご使用の全自動食器洗い機の点検を！

	<p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none">● 電源コード、プラグが異常に熱くなる● 電源コードに深いキズや変形がある● 焦げくさい臭いがする● ビリビリと電気を感じる● その他の異常や故障がある
	<p>使用中止</p>	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため使用を中止し、すぐに給水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜くか、本機専用ブレーカーを落として、必ずお買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートに点検・修理をご相談ください。</p>

製品保証書

品名	電気食器洗い機	モデル名	FEE73407ZM
※製品番号 PNC	911 064 027 【注】数字のみで9桁～11桁の番号です。	※製造番号 S.N.	【注】数字のみで8桁の番号です。
※お名前			
ご住所・電話番号	〒 () ..		
※お買い上げ日	年 月 日	※取扱販売店名/住所/電話番号	
保証期間	(お買い上げ日より) 3年	印	

- 本書は、お買い上げ日より保証期間中に故障が発生した場合に、修理規定に従い無償修理を行う事をお約束するものです。
- 修理規定に記載された内容を必ずお読みいただき、本書と共に販売店が発行したお買い上げ日を証明できる書類(納品書、領収書など)を保管してください。(※印欄が不明の場合、修理規定に従い無効となる場合があります。)
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 販売店の印やお買い上げ日が記載されていない場合は、お客様にて情報をご記入ください。
- 修理をご依頼の際は、お買い求めの販売店、またはエレクトロラックス お客様サポートへお申込みの際に、本書の※印欄の内容ならびに故障の状況をできる限り詳しくお伝えください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社

エレクトロラックス お客様サポート

フリーダイヤル：0120-54-0202

電話受付時間：月～金曜日 9:00AM～5:00PM

※土日祝日および年末年始はお休みさせていただきます。

※午前中は大変込み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。

MEMO

MEMO



156806311

AEG